

戦争する国
NO!

憲法を守りいかす国
YES!



選挙に行って、政治を変えよう 明日を決めるのは—私たち

すべての一人区で
野党統一候補が実現！

いま、野党共闘が劇的な進展を見せています。参議院選挙の選挙区のうち32の一人区のすべてで、野党統一候補が実現しました。野党4党（民進党・日本共産党・社民党・生活の党）は、安保法制廃止と立憲主義回復で一致し、安倍政権打倒をめざし、結束しています。「アベ政治は許さない」「戦争法は廃止を」——そのために野党は共闘してほしいという市民の声が野党を後押ししました。私たち主権者の声が政治を動かしています。政治を変えるチャンスです。

「憲法9条を変えてよいのか」
が問われる参議院選挙

憲法解釈を変えて戦争法を強行した安倍政権は、さらに参議院選挙後には、憲法改悪をねらっています。9条を変えて「国防軍」をつくり、戦前の戒厳令のような「緊急事態条項」をつくろうとしています。日本は、憲法9条があったから、自衛隊の創設以来、一人の外国人を殺すことも、一人の戦死者を出すこともありませんでした。憲法改悪で「戦争する国」か、それとも憲法を守りいかした「戦争しない平和な国」か、今度の選挙の大きな争点です。

憲法をいかし、
いのちが大切にされる社会へ

70年前、日本は、「政府の行為により再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し（憲法前文）」、いのち・平和・人権を守り、個人の尊厳を擁護する憲法を確定しました。そして、主権者は私たち国民だと宣言しました。明日を決めるのは私たちです。選挙に行って政治を変えましょう。

「戦争法廃止求める統一署名」 1200万人突破

50000人が参加した「5・3憲法集会」（東京・有明防災公園）において、「戦争法廃止を求める2000万人統一署名」が1200万人を突破したことが報告されました。その後も、署名は広がり続けています。

安保関連法（＝戦争法）は、日本が攻撃されていないのに、アメリカの戦争に参加する法律です。「人が殺し、殺される」戦争に参加する現実の危険が高まります。「戦争だけはイヤだ」という国民の声を集めて、必ず廃止させましょう。